



LabTecta® への更新で平均故障間隔が 2000% 以上延長

アイルランドの食品飲料メーカーのアルキメデスポンプでは
2 か月ごとに故障が発生していました。

アイルランドの食品飲料メーカーでは、アルキメデスポンプによりホッパーから砂糖を汲み出していました。その際、砂糖がホッパーからポンプのオイルシールに入り込み、2〜3 か月ごとにポンプが故障していました。

AESSEAL® は、軸受を故障から守るために特別設計された LabTecta® IAP (Inboard Air Purge) を提案しました。IAP はラビリンス技術にて、エアパージを内部に誘導することで、揚液の混入や潤滑油の漏出を防ぎます。

2010 年 9 月の導入以降、LabTecta® IAP は正常に稼働しており、平均故障間隔は従来の 2〜3 か月から 4〜5 年に延長されました。ダウンタイムとメンテナンス時間が大幅に削減されることで、製品の生産損失も削減することができました。



「平均故障間隔が 3 か月 ⇒ 4 年以上に延長」

業界： 食品および飲料
製品： LabTecta® IAP
用途： アルキメデスポンプ
平均故障間隔延長: 2060%
参照番号: CH00349_JP

